

第193回 信用保証利用企業動向調査

平成29年4～6月期の道内信用保証利用企業の
景況感は、弱い動きであるが改善が続いている。

北海道信用保証協会（本店：札幌市中央区 会長：高原陽二）は、株式会社日本政策金融公庫（本店：東京都千代田区 代表取締役総裁：細川興一）と共同で、北海道信用保証協会をご利用いただいている中小企業を対象に、景況・金融動向に関するアンケートを実施いたしました。

平成29年6月中旬に道内1,497企業を対象にアンケートを実施し、374企業よりご回答をいただいております。

～ 道内の景況・金融動向 ～

生産・売上

卸売業、小売業を除くすべての業種で改善し、サービス業はプラスに転じる。一方、卸売業はマイナスに転じる。
今後の予測では、卸売業、小売業、サービス業で改善する見通し。

採算

製造業、卸売業を除くすべての業種で改善し、サービス業はプラスに転じる。
今後の予測では、建設業を除くすべての業種で改善し、卸売業はプラス水準に転じる見通し。

資金繰り

卸売業、小売業を除くすべての業種で改善し、サービス業はプラスに転じる。一方、卸売業はマイナスに転じる。
今後の予測では、製造業、卸売業、小売業で改善し、建設業、サービス業で悪化する見通し。

借入難易感

小売業を除くすべての業種で改善し、サービス業はプラスに転じる。一方、小売業はマイナスに転じる。
今後の予測では、すべての業種で悪化する見通し。

<お問い合わせ先>

北海道信用保証協会 総務部経営企画課（担当：増子・土江）

電話 011-241-2535

日本政策金融公庫 保険業務部 北海道東北保険業務推進室（担当：鈴木・津川）

電話 022-223-1810



北海道内

信用保証利用企業動向調査 (平成29年4~6月期調査)

この調査は、信用保証をご利用いただいている中小企業の皆様の景況・金融動向等を把握するために、日本政策金融公庫保険企画部が全国9都道府県(北海道、宮城県、東京都、愛知県、石川県、大阪府、広島県、香川県、福岡県)の信用保証協会と共同して、四半期毎に信用保証利用企業についてアンケート調査を行っているもので、昭和44年以来実施している調査です。

この度、平成29年4~6月期の道内の調査結果をとりまとめましたので、お知らせします。

【調査時点】	平成29年6月中旬
【調査対象】	1,497企業
【有効回答数】	374企業(回答率25.0%)
【調査方法】	封書によるアンケート調査

道内の信用保証利用企業の景況感は、弱い動きであるが改善が続いている。

<全国の判断> 信用保証利用企業の景況は、一部に弱い動きが見られるものの、持ち直しの動きが続いている。

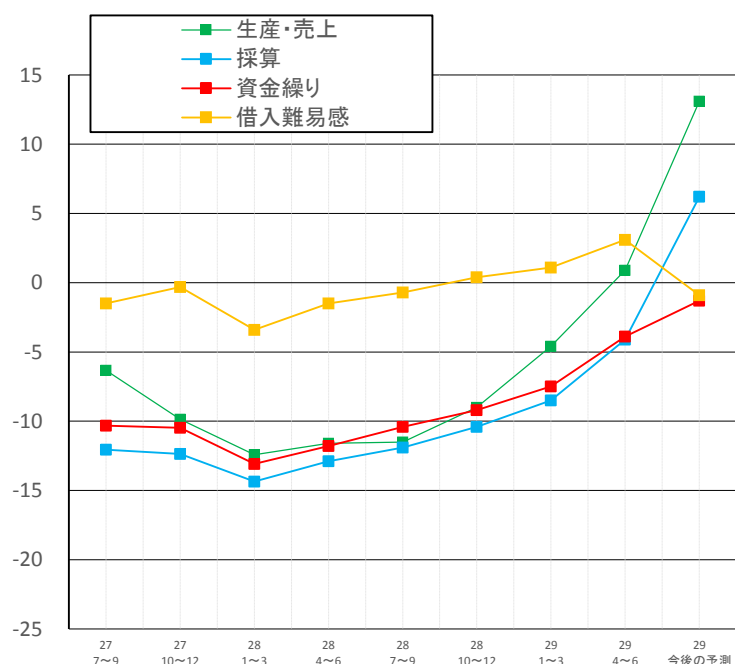


概況

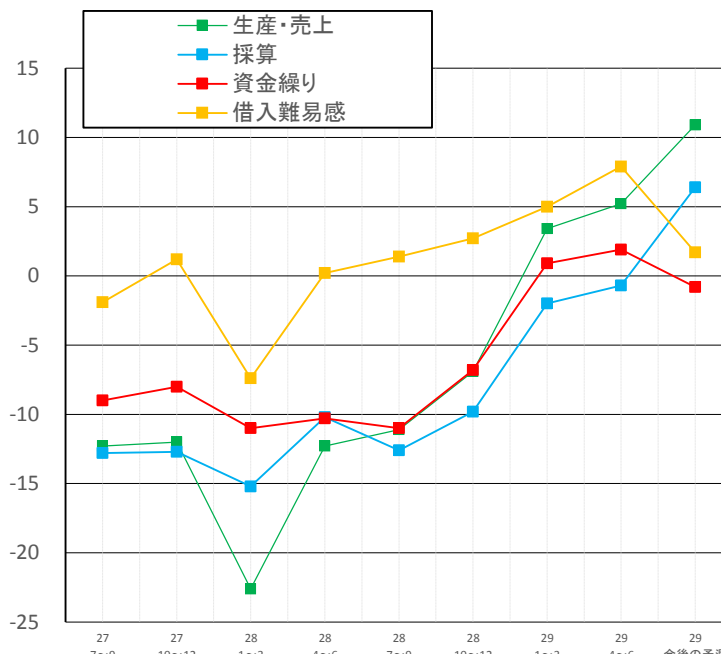


総合DIの推移

全国



北海道



コメント~全国的には持ち直しが続いており、北海道でも弱い動きであるが改善が続いている。

今期調査(平成29年4~6月期)による景況動向指数は、全国では、生産・売上DIは5.5ポイント、採算DIが4.4ポイント、資金繰りDIが3.6ポイント、借入難易感DIは2.0ポイントとすべての指数でそれぞれ改善した。

北海道では、生産・売上DIは1.8ポイント、採算DIは1.3ポイント、資金繰りDIは1.0ポイント、借入難易感DIは2.9ポイントとすべての指数でそれぞれ改善した。生産・売上DI、資金繰りDI、借入難易感DIはプラス水準での推移が続いているが、採算DIはマイナス水準での推移が続いている。

今後の予測については、生産・売上DI、採算DIは改善の見通しにある。

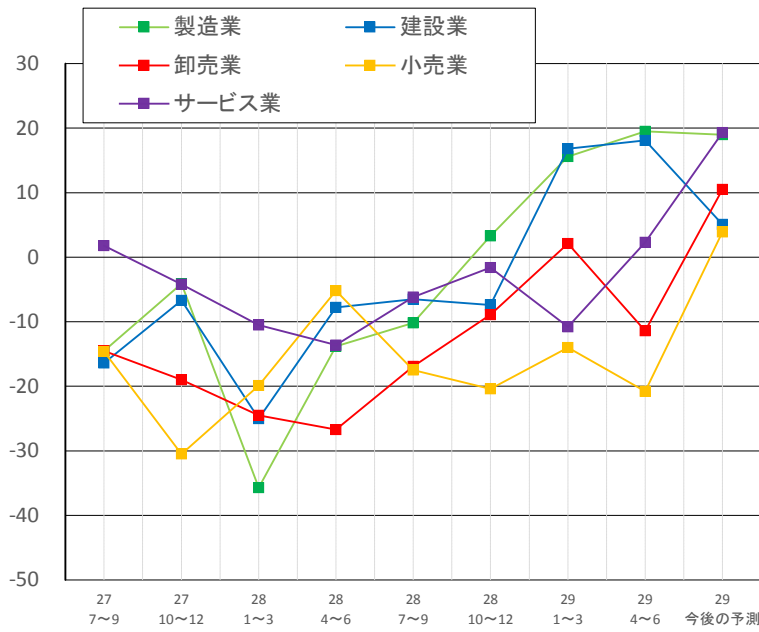
景気動向指数DI (Diffusion Index)とは

景気動向指数DIとは、景気の現状と先行きを予測する動向指数で、アンケート調査において、前期に比べ、「増加(または、好転、容易)」と回答した企業割合から、「減少(または、悪化、困難)」と回答した企業割合を差し引いた数値から、季節的な変動要因(季節調整値)を控除した数値です。

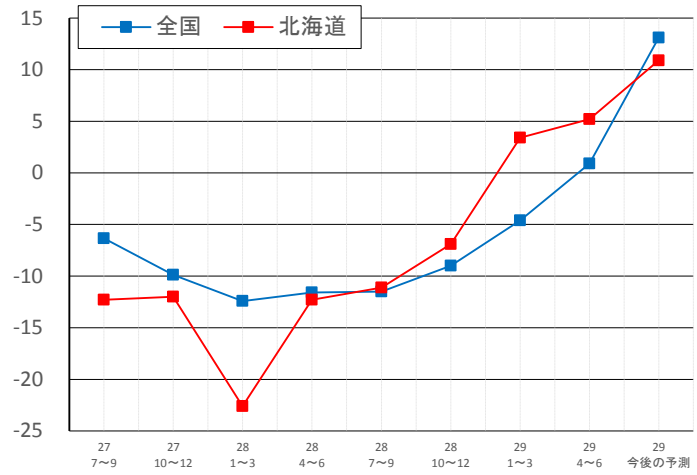
〈北海道分〉

生産・売上DI

生産・売上DI推移(業種別)



全国と北海道の生産・売上DIの総合



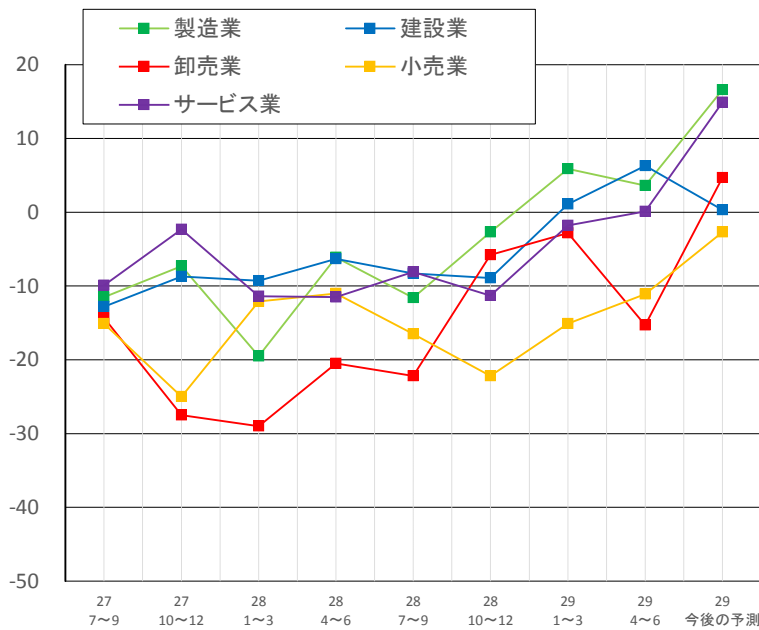
	前期予測	今期実績	次期予測
総合	8.5	5.2	10.9
製造業	9.2	19.5	19.0
建設業	14.1	18.1	5.1
卸売業	15.4	△ 11.4	10.5
小売業	△ 5.5	△ 20.8	3.9
サービス業	3.7	2.3	19.3

コメント～卸売業、小売業を除くすべての業種で改善し、サービス業はプラスに転じる。一方、卸売業はマイナスに転じる。

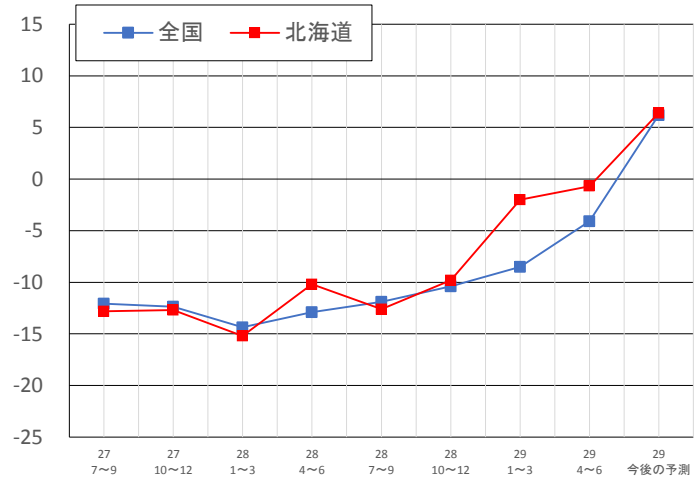
生産・売上DIでは、総合で前期比1.8ポイント改善し、5.2となった。業種別では製造業、建設業、サービス業は改善し、卸売業、小売業は悪化した。プラス水準は製造業、建設業に加えサービス業の3業種となったが、卸売業はマイナス水準に転じた。今後の予測では、卸売業、小売業、サービス業で改善する見通しにある。

採算DI

採算DI推移(業種別)



全国と北海道の採算DIの総合



	前期予測	今期実績	次期予測
総合	6.8	△ 0.7	6.4
製造業	12.5	3.6	16.6
建設業	14.3	6.3	0.3
卸売業	5.3	△ 15.3	4.7
小売業	△ 5.7	△ 11.1	△ 2.7
サービス業	△ 0.1	0.1	14.9

コメント～製造業、卸売業を除くすべての業種で改善し、サービス業はプラスに転じる。

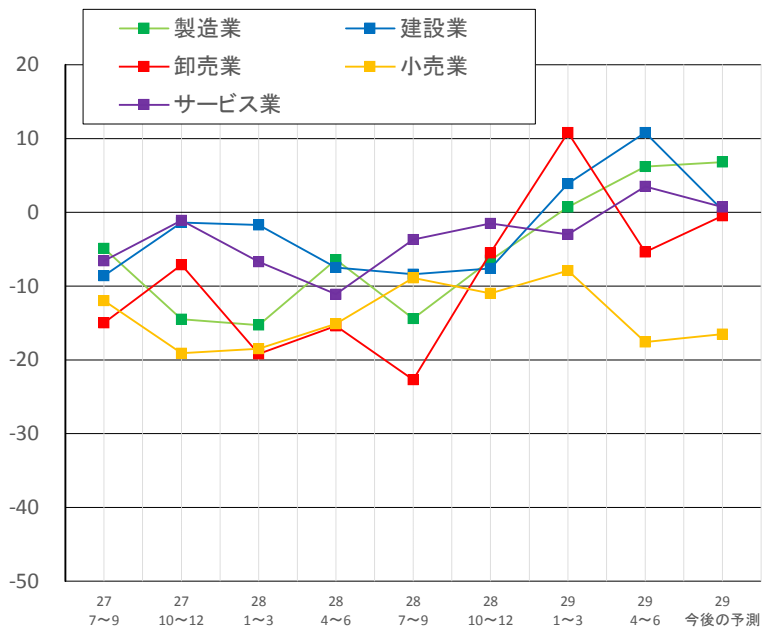
採算DIでは、総合で前期比1.3ポイント改善し、△0.7となった。業種別では建設業、小売業、サービス業は改善し、製造業、卸売業は悪化した。プラス水準は製造業、建設業に加えサービス業の3業種となった。今後の予測では、建設業を除くすべての業種で改善し、卸売業はプラス水準に転じる見通しにある。



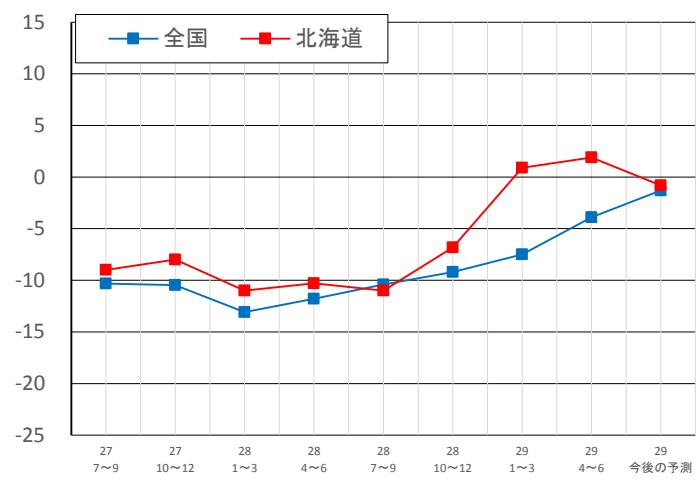
資金繰りDI



資金繰りDI推移(業種別)



全国と北海道の資金繰りDIの総合



	前期予測	今期実績	次期予測
総合	0.5	1.9	△ 0.8
製造業	6.1	6.2	6.8
建設業	7.1	10.8	0.3
卸売業	△ 0.7	△ 5.4	△ 0.5
小売業	△ 7.7	△ 17.6	△ 16.5
サービス業	△ 7.4	3.5	0.7

コメント～卸売業、小売業を除くすべての業種で改善し、サービス業はプラスに転じる。一方、卸売業はマイナスに転じる。

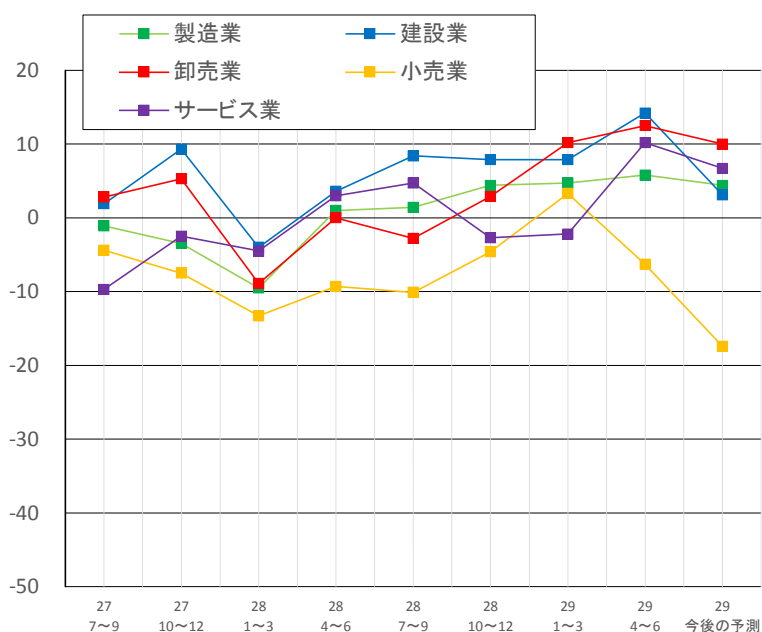
資金繰りDIでは、総合で前期比1.0ポイント改善し、1.9となった。業種別では製造業、建設業、サービス業は改善し、卸売業、小売業は悪化した。プラス水準は製造業、建設業に加えてサービス業の3業種となったが、卸売業はマイナス水準に転じる。今後の予測では、製造業、卸売業、小売業で改善し、建設業、サービス業で悪化する見通しにある。



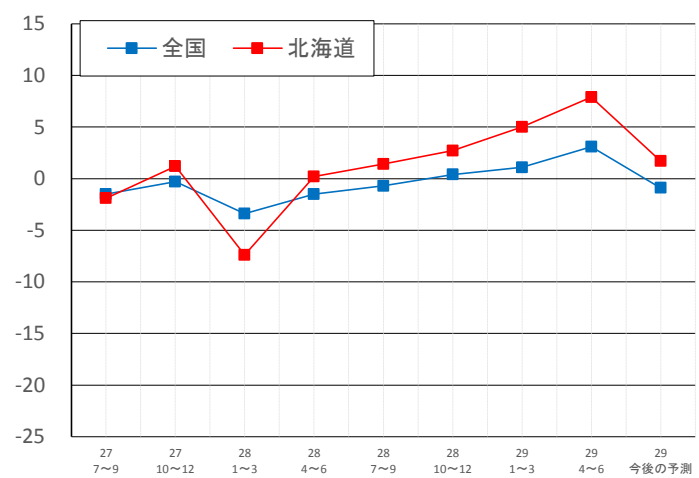
借入難易感DI



借入難易感DI推移(業種別)



全国と北海道の借入難易感DIの総合



	前期予測	今期実績	次期予測
総合	△ 0.7	7.9	1.7
製造業	4.7	5.8	4.4
建設業	2.1	14.2	3.1
卸売業	4.3	12.5	10.0
小売業	△ 10.7	△ 6.3	△ 17.4
サービス業	△ 6.8	10.2	6.7

コメント～小売業を除くすべての業種で改善し、サービス業はプラスに転じる。一方、小売業はマイナスに転じる。

借入難易感DIでは、総合で前期比2.9ポイント改善し、7.9となった。業種別では小売業を除くすべての業種で改善し、サービス業はプラス水準に転じたが、小売業はマイナス水準に転じた。今後の予測では、すべての業種で悪化する見通しにある。



※取引金融機関からの借入にかかる保証付融資利用要請の見通しに対する予測調査

